

# Campus Today



## 県と「歯科口腔保健の推進に関する連携協定」締結

### 県民の歯と口腔の健康を保ち さらなる健康寿命延伸をはかる

本学は2月5日(水)に長野県と「歯科口腔保健の推進に関する連携協定」を締結し、記者発表が行われた。本学の矢ヶ崎雅理事長と阿部守一知事が長野県庁応接室において協定書を交わし、相互連携によって県民の健康増進をはかることで合意した。歯科医療提供体制の現状と課題を把握して県民に情報を提供するとともに、地域特性を踏まえた施策の検討や歯科医療の充実を目指す。訪問歯科診療やオーラルフレイル対策など歯科口腔保健ニーズに応じた取り組みを推進していく。

本学と長野県との連携内容は次のとおり。

- (1) 県内の歯科医療情勢の分析と有効活用
- (2) 効果的な歯科医療の提供方策の検討
- (3) 歯科医療関係職種養成・確保
- (4) 新たなニーズに対する歯科医療
- (5) 職員の交流



協定書を交わす矢ヶ崎理事長(左)と阿部知事

が増してきており、県内唯一の歯科医師養成機関である松本歯科大学の協力が不可欠です。これまで以上に密接な連携・協力関係を深めていきたい」と挨拶した。

続いて矢ヶ崎理事長は「知事から身に余るお言葉と後押しを頂戴しました。口腔を通じて長野県民の健康増進を担うべく、今後も県民に欠かすべからぬ歯科大学として肝に銘じて研鑽いたします」と応じた。

締結式には、本学から矢ヶ崎理事長のほか宇田川信之歯学部長、靄島弘之地域連携歯科学講座主任教授、笠原哲三校友会学

術担当理事も出席し、報道陣からの質問に答えた。

靄島教授は「県の健康長寿ビッグデータと本学が保有するデータを照合・活用することで、県民の全身の健康状態と歯科の関係を訴求していきたい。具体的には、医科の疾患と残存歯や歯周病の状況等との関連性を分析し、口腔データが糖尿病や骨粗鬆症など全身の病気のスクリーニングに役立つことを検証して、医師と連携して早期発見・早期治療につなげられれば有意義だ」と思う」と展望を示した。

高年齢者や障がい者への訪問歯科診療については「在宅で歯科診療が受けられることを県民の多くの皆さんが知らないし、実際に数%の人しか利用されていない。こうした現状を打破するためには行政や多職種と連携し、システムを明確化していきたい」と強調した。

笠原理事は「在宅歯科診療を推進するには地域の開業歯科医師との連携も欠かせません。リスクも伴う診療なので、エビデンスに基づいて安全に診療ができるよう松本歯科大学の先生方に指導・アドバイスをいただき、県歯科医師会とのさらなる連携を望みます」と補足した。

オーラルフレイル対策として

### 断じて行えば鬼神も之を避く 卒業証書並びに学位記授与式

抜けるような青空が広がった冬晴れの2月6日(木)、2019年度松本歯科大学・松本歯科大学衛生学院の卒業証書並びに学位記授与式が本館7階講堂で挙行され、歯学部、衛生学院、歯科衛生士学科の卒業生および大学院歯学独立研究科の修了生(博士学位取得者)合わせて80人が式に臨んだ。

黒い角帽にガウンをまとった歯学部卒業生は一人ずつ呼名されて登壇。川原一祐学長から卒業証書・学位記が手渡され、第6学年主任の大須賀直人教授の手により、学位取得の証として角帽のタッセルを右側から左側に移された。

大学院修了生には山田一尋歯



川原学長から卒業証書・学位記を授与される卒業生

学独立研究科長から学位記が、衛生学院卒業生には笠原悦男衛生学院院长から卒業証書が手渡された。

挨拶に立った矢ヶ崎雅理事長は「断じて行えば鬼神も之を避く」という言葉があります。やるぞと決めて行えば鬼でさえその勢いに押し返されていく、という意味です。自分を信じて生涯学び、実力をつけて信頼される歯科医療人となるよう頑張ってください。いずれまた大学に戻って来るときがあれば門戸を開いて待っています」とはなむけの言葉を贈られた。

川原学長は「大学の評価というものは卒業生たちの活躍をもって評価するのが正しいと考え

ます。これから皆さんは口腔医学を担う教育者であり、診療者や研究者でもあり、また社会活動における指導者でもあることを自覚してください。皆さんの旅立ちにちょうど小鳥が巣立つ光景が連想されます。力いっぱい羽ばたいて大空を飛び回ってください。将来の活躍を祈念いたします」と告辞した。

卒業生を代表して答辞を述べた清水まやさんは「先生方の熱心なご指導を受け臨床歯科医学の基礎を築いていくことができ、かけがえのない友人を得ることができました。本学の教育方針を胸に抱き良心と尊敬を持って歯科医療に従事します」と学び舎を巣立つ決意を述べた。



大勢の参加者で盛り上がった卒業謝恩祝賀会

で内閣官房参与の飯島勲氏が祝辞を述べた後、川原学長の乾杯の音頭により開宴した。

会場には東京浅草「金太楼館」のケータリングや本学のフレンチレストラン「雷鳥」・中国料理レストラン「スターダスト」の料理がbuffet形式で並び、卒業生は恩師や学友と時間を忘れて歓談に興じた。

名画で楽しむギリシア神話(34)

オデッセイア ⑩

自分の部屋にいたペネロペイアは、広間の騒ぎを聞きつけ、豚飼いのエウマイオスに言いつけた。「他国から来た男がいるのなら、ここに呼んでおくれ。オデッセウスについて何か聞き知ったことがないか訊ねてみた」。

豚飼いに声をかけられたオデッセウスは、求婚者たちの乱暴狼藉のなかでは無理だから、日が暮れてから伺おうと答えた。彼は野卑な公認乞食のイロスとの格闘や、求婚者の一人と情を通じた性悪女中メラントからの嘲りなど、さんざんな目に遭わされたが、それらを耐え忍んでいる間に、ようやく暗く

傷跡を隠したオデッセウスはペネロペイアと向かい合う。二人は20年ぶりの再会なのだが、アテネによって姿を変えられているので、妃は全く気付かない。いくつかの質問への答えで、この男がいまだ帰らざる夫に確か

なって、飲み食いし飽きた求婚者たちは帰宅していった。広間に残ったオデッセウスはまず足を洗ってもらうことになった。老女エウリュクレイアはその昔の彼の乳母であったから、見覚えのある足の古傷に気づいて「あ、殿様だ」と声を出しうになつた。あわてて「婆や、黙っていてくれ」と制止した。



図1 Edward J. Pointer: エウリュクレイアとオデッセウス



図2 求婚者たちに夫の強弓を示すペネロペイア

ができた者を新たな夫にする」と、一同に告げた。(図2) 最初にテレマコスが弓を手に取ったが、弓に弦を張ることさえできない。「残念ながら、私はとても父には及ばない。さあ、各々方も試みられよ」。

求婚者たちも試みたが、どんなに力を込めても弦を張ることができなかった。火を焚いて弓を温め、油を塗るなど柔らかにしようとしても無駄だった。

その間に外に出たオデッセウスは旧主に忠実な豚飼いに正体を明かし、求婚者や裏切り者たちを成敗するために彼らの武器を隠すなどの準備を始めた。そして、あまりの強弓に悪態を吐く求婚者たちのところに戻り、「若い時の力が残っているか、この古いほれにも試させてください」と名乗り出た。(つづく)

(笠原 浩)

カムカムメニュー普及活動 特別講演会 簡単レシピ研究家・大口知子さんが講演



講演する大口さん

カムカムメニュー普及推進活動の一環として12月7日(土)、「食べる」という視点から一人簡単レシピ研究家として日本キッチン育児協会代表理事の大口知子さんを講師に招き、図書館2階学生ホールにて特別講演会が開催された。大口さんは「食べ

ることを大切にできる人は自分家事を両立し、ママさん世代の

サポートをするためのさまざまな活動をjしている。自身のブログで「手抜きに見える簡単レシピ」などを紹介したことがきっかけでテレビ番組の料理コーナーに出演。ゆめサポママ@ながのを立ち上げ、ゆめママキッチンで店長を務める。また、テレビ信州「ゆうがたGET」料理コーナーに木曜レギュラーとして出演している。

わち今日食べたものが今後の自分や自分の子どもなどに影響を与えるとの持論を述べた。健康に良くないイメージのあるファストフードについては、手早く提供されるというメリットを上手に取り入れ、スローフードとかけ合わせて便利に使うことを提案した。

最後に、県内未成年者の自殺

川茂幸特任教授がエピペンの使い方を解説

第2回医療安全講習会

1月27日(月)、第2回医療安全講習会を開催した。内科の川茂幸特任教授に「エピペンの使い方」と題して講演いただいた。アナフィラキシーの原因、症状から対応にいたるまで、大変わかりやすくお話しされた。

その初期対応の一環としてアドレナリンの筋肉注射があり、ア

アナフィラキシーは、発症後の短時間に全身性のアレルギー症状が出る反応で、生命を脅かす危険な状態になることがある。



エピペンの使い方を説明する川教授

田川高校で出張講義 歯科医師・歯科衛生士の役割や魅力を紹介

者さんのことが好きになるお話―お口から健康になりましょう―と題した岡藤教授と西窪歯科衛生士長の講座には、医療分野に関心をもつ生徒13人が聴講した。はじめに岡藤教授が、健康で美しいお口を保つための歯科医師および歯科衛生士の役割や歯科の基礎知識を解説した。

歯科矯正学講座・岡藤範正教授と西窪結香病院歯科衛生士長は1月23日(木)、県立田川高校を訪れ出張講義を行った。塩尻商工会議所が主催し、同校のキャリア教育の一環として塩尻市内のさまざまな職種のエキスパートたちが専門分野の仕事について講義する「塩尻知る知りゼミナール」の一コマで、「歯医



歯磨き指導をする西窪歯科衛生士長

最後に「歯科衛生士とは、患者さんの健康をお口から支える仕事です。患者さんも自分もお互い幸せになれる」と話し、歯科衛生士の魅力を伝えた。講義後は、生徒たちに正しい歯磨きの実践指導も行い、歯科の重要性をアピールした。

ドレナリンの自己注射器であるエピペンは、成人用では0.3ミリグラムが注射されるようになってきている。エピペンの使用は、救急車を呼んで救急医療機関への移送が必要なことを意味し、院内で発症した場合には、CPRコールをお願いしたい。後半は、院内感染防止対策委員会委員長の芳澤淳子教授による「歯科外来診療における院内感染対策」をテーマとした講演が行われ、国公立大学附属病院感染対策協議会が編集した病院感染対策ガイドライン2018年版の一部を紹介された。また

MTBペタリング 随想記 オリンピックイヤーのため例年より早く開催されたアジア選手権でタイに行った。開催場所は20年前から合宿でよく行っているタイ北部のチェンライ。前回訪れたのは昨年「ずいぶん物価も上がったよな」なんて思っていた。数年前よりタイは国をあげて自転車競技に力を入れた。世界大会にも参加するようになった。選手単独や所属チーム、ナショナルチームでの海外遠征を積極的にやっている。ヨーロッパの大会でアジア人は珍しく、チームアジアとして日本とタイの交流も生まれ、情報交換や協力体制が出来つつある。やり取りの中で賞金のお話を耳にした。過去にも国際大会において国からの賞金は存在したが、今年からゼロがひとつ増えた。大会によってはそれ以上の上げ幅もあり、それを狙わないわけがない。確実にスタッフと選手の間でモチベーションアップに貢献しており、競技力向上につながり、それが国としての強化につながっている。遠征や賞金への反映の裏側には経済発展があり、とても素晴らしいことだと思った。国が裕福になると余暇が増えスポーツなどに充てる時間と費用を作りだせる。富は食事に直結し、肥満が増える。次はダイエットが流行する。ランニングは腰や膝関節に負担が多いため一定数はスポーツ自転車へと移行する。経済発展と余暇とスポーツの方程式に当てはまりだしたタイ。早朝と夕暮れ時に連なって自転車走っているのを見て、自転車人気も強化の一因になっていると感じた。



元JFD一五輪日本代表 鈴木 雷太

# 松本歯科大学市民公開講座「歯科医療の最前線」開催 全4回参加の聴講者31人に修了証を授与



全4回参加した方々と記念撮影

2019年度松本歯科大学市民公開講座は、「歯科医療の最前線」をメインテーマに、塩尻市市民交流センター（えんぱーく）において、1月11日（土）から2月1日（土）まで4週連続で開催された。同講座には過去最多となる延べ226人が聴講し、いずれの回も多くの質問が寄せられた。4回すべてに参加した31人の聴講者は川原一祐学長により一人ずつ呼名され、修了証と記念品が贈られた。

2014年にスタートした松本歯科大学市民公開講座は、全4回シリーズで毎年1〜2回開催しており、今回で10回目を迎えた。近隣住民の方々が健康に対する理解と関心を深めるとともに、本学病院が提供する質の高い医療を知っていただくことを目的として、毎回異なるテーマを据え、本学のスペシャリストが登壇している。

1月11日（土）は歯科保存学講座の亀山敦史教授が「審美歯科治療の最前線」と題して講演した。審美歯科治療の目的は、一般的な口腔疾患と違い、口もとの心理的・社会的な不安や問題を解消するのがメインとして「不満や希望を歯科医師にしっかりと伝え、複数の治療法の中から予算とニーズに見

合った選択肢を選ぶことが大切」と強調した。多様なホワイトニングやコンポジットレジン、歯ぐきの黒ずみ除去など最新の治療も紹介した。

18日（土）は公衆衛生学講座の山賀孝之教授が「口臭の原因とその対策」をテーマに、口臭の原因物質やその産生メカニズムなどを丁寧に解説した。口臭には病的口臭と生理的口臭があり、生理的口臭をコントロールする方法として、「舌清掃」「生活習慣の改善」「洗口剤の併用」を挙げた。山賀教授は口臭との向き合い方について「起床時や空腹時などに生理的口臭が高まるのはありふれた生理現象。口臭を気にしないではなく気にしすぎない。口臭を無くすのではなく、上手に付き合っていくと考えてください」と説いた。

25日（土）は「お口の渇きが気になる方」に口腔乾燥症のなるほど学」をテーマに口腔病理学講座の村上聡准教授がドライマウスと唾液が支える健康生活シエグレン症候群などについて分かりやすく話した。ドライマウスは唾液が出づらくなること

によって口が乾いているという現象で、高齢者の方は睡眠時などに口が開いたままの状態になることにより「ドライマウス」にも注意が必要となる。また、ドライマウス検査ではシエグレン症候群であるか否かを鑑別することが非常に重要であり、内科や眼科、膠原病外来などと連携して複合的な対応が必要になると述べた。村上准教授は「間違った知識や思い込みで不安になるのが一番良くありません。適切な検査や診断を受け、市民公開講座などでも有効活用してください」と呼びかけた。

2月1日（土）は歯科保存学講座の増田宜子教授が「美味しく食べるための歯の根の治療」と題して講演。無髄歯と有髄歯の違いや歯の根の複雑な構造などを丁寧に説明し、根管治療を要する疾患や顕微鏡を使った最新の治療方法について語った。根管治療は歯髄腔の形や根管の数や形が歯によって違うため、狭い口の中であつて直接見ることの難しい歯の中での10ミクロン単位の細かい作業になり、相応な技術を要する。増田教授は「虫歯を早い段階で治せば細菌の感染や炎症を予防できます。根管治療をしないようにすることが一番なので、なんでも美味しく食べられるように定期的に歯科を受診し、歯髄を大切にしましょう」と説いた。

## 富士岳志講師が講演と実技指導 長野県歯科医師会主催 第2回実技講習会

第2回実技講習会（長野県歯科医師会主催）が1月26日（日）、本学実習館において開催され、「閉塞型睡眠時無呼吸症候群の基礎と歯科対応」をテーマとして、本学歯科補綴学講座の富士岳志講師が講演と実技指導を行った。

閉塞型睡眠時無呼吸症候群は、日中の突然の眠気を誘発し交通事故を引き起こしたり、生活習慣病との関連も指摘され国民の関心も高い疾患である。当院でも内科と連携し、口腔内装置による歯科的な対応を行っているが、全国に500万人とも言われる患者がいる中で、全国的に

も対応できる歯科医師が少ないのが現状である。当日は県内から24人の参加者を得て、講義形式により基礎から臨床入門まで学んだあと、実際に相互実習で口腔内装置の装着を行う実習を行った。



講演する富士講師



相互実習での実技指導

先生も多く、術者および患者を体験することでより相互理解を深められたと思われる。また、時間を超過しての活発な質疑応答も行われ、参加者一同、非常に濃密な講習会となり、明日からの診療にすぐに実践できるような内容であった。私もオプザーバーとして参加させていただいたが、（自分自身が：ということもあり）非常に興味深く拝聴し、今後またこのような機会があれば参加してみたいと思う。

（地域連携歯科講座 教授 龍野弘之）

## 病院だより vol.19

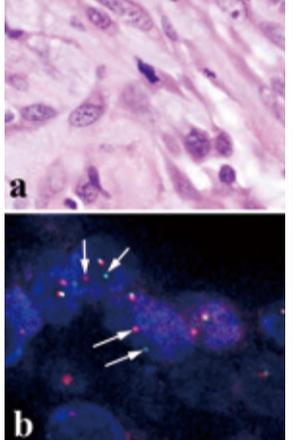
シリーズ 専門性⑧

# 病理検査室

病理検査は、採取した細胞や組織から標本を作製して病名を確定する作業で、法律的には医療行為に属し、診療部門の裏方の存在ですが、診療行為の一部です。本院の病理検査室では、3人の歯科医師と1人の検査技師が従事しています。主なお口の病

気は「虫歯と歯周病」ですが、昨年、芸能ニュースで話題となった「舌がん」に代表される悪性腫瘍も少なくありません。口、食道、肺、子宮などには同じ型のがんが発生しますが、口の症例は他の臓器と性格や顔つきが異なり、一般医科の病理医を悩ませます。本院では、県内はもとより全国の大学病院や総合病院からコンサルテーションを受けて、特殊な口腔がんの診断業務のお手伝いをしています。病理診断という専門性の中で、さらに細分化した専門性を「口腔病理医」として担っています。

われわれの日常業務の多くは、標準（3ミクロン）にスライスした組織をガラスに貼って色付けしたもの（作製し、顕微鏡で観察します。腫瘍には何百もの種類があり、正常な細胞からが



a: がん細胞 b: 異常な遺伝子



顕微鏡による検査

ん細胞を区別して種類を特定する作業は一種の職人的な科学的知識と経験が必要です。最近では「がんのオーダーメイド治療」のための遺伝子検査が日常的になりました。舌がんではまだ治療に有効な遺伝子異常は特定されていませんが、唾液腺がん、血液のがん、骨や筋肉などのがんの遺伝子の異常を検査して、診断に役立っています。この検査には特殊な知識、技術、何よりも高価な検査試薬が必要なので、この検査を実施する歯科大学病院は全国でも本学を合

めて数施設です。当検査室では、高度な医療の実現のために、最新の診断方法を駆使して業務を実施しています。

12月14日（土）・15日（日）の両日、松本歯科大学病院主催の臨床研修歯科医指導歯科医講習会が本学創立30年記念棟にて開催された。参加者は、学内外の校友の先生、他大学出身の先生合わせて23人の応募者により構成された。

開始に先立ち、矢ヶ崎裕病院統括者より「臨床研修歯科医の指導は将来の歯科医療を支える重要な役割を担うので、真摯に取り組む周囲に還元していただきたい」というお言葉をいただいた。

また、山田一昭長野県歯科医師会学術常任理事よりご挨拶をいただいた。講習会は、黒岩昭弘研修管理委員会委員長（歯科補綴学講座教授）・チーフタスクフォースの進行の下開始された。学習内容では院内感染防止対策、歯科医療におけるリスクマネージメント、歯科医師臨床研修の現状を芳澤享子教授（口腔顎顔面外科学講座）・澁谷徹教授（歯科麻酔科）・筆者（口腔診断科）の研修管理委員からそれぞれ説明

た。また、山田一昭長野県歯科医師会学術常任理事よりご挨拶をいただいた。講習会は、黒岩昭弘研修管理委員会委員長（歯科補綴学講座教授）・チーフタスクフォースの進行の下開始された。学習内容では院内感染防止対策、歯科医療におけるリスクマネージメント、歯科医師臨床研修の現状を芳澤享子教授（口腔顎顔面外科学講座）・澁谷徹教授（歯科麻酔科）・筆者（口腔診断科）の研修管理委員からそれぞれ説明

さらに3グループに分かれ、管理型施設や協力型施設研修における目標・方略・評価について、全体発表を挟んで加筆修正を行いながら適正な臨床研修指導の構築プロセスを学習した。

最後に黒岩研修管理委員長から、厚生労働省認定指導医認定証が参加者一人ひとりに授与された。本講習会は松本歯科大学病院において毎年開催され、大学病院ならびに協力型施設研修の指導歯科医要請に寄与しております。臨床研修歯科医指導歯科医ならびに協力型施設研修を目指す



グループ学習で意見を交わす参加者

（研修管理委員会 プロダクト責任者 菅野淳）

# Alumni News

松本歯科大学校友会

## 沖縄県支部

### 19期生・樋口琢善先生が講演 「歯周外科ベーシックテクニックのポイント」

沖縄県支部学術講演会・忘年会が、11月30日(土)那覇市のネストホテル那覇にて開催されました。

講師に樋口琢善先生(19期生、福岡県飯塚市開業)をお迎えして「歯周外科ベーシックテクニ



樋口先生(左)と城間健支部長

ックのポイント」(可能な限り歯を残す歯科治療と高い手術成功率をえるために)と題して講演をしていただきました。

樋口先生は、自己紹介を兼ねてご自分の診療所の紹介や所属している勉強会の話などをされ、その後症例をスライドと図説を使いわかりやすくお話しいただきました。

歯周外科とは観血的な処置が多く、また治療期間も長くな

な患者の協力が得られにくい治療のひとつですが、術者の正確な技術とスタッフによる良質なメンテナンスの両方が結びつく事によって成功に導かれるということが、スライドから見ることができました。

特に初診時には全くの無表情であった患者が治療を続け、良好な口腔状態に改善されていくなかで、表情に明るさを取り戻すことができた症例には一種の感動さえ覚えるものでした。

講演のなかで、「何事にも徹底的にやります」ということばが何回か出てきましたが、その熱意こそが長期にわたる歯周外科成功の鍵になるとあらためて思いを強くした講演でした。

樋口先生には講演会の後、支



沖縄県支部会員

部の忘年会にも参加していただきお酒が入ったなか、学生時代の輝かしい(?)思い出も披露していただき、大いに盛り上がりその後2次会へと繰り出しました。樋口先生ありがとうございました。

(沖縄県支部 10期生 長田祝雄)



左から 宇田川 琢(矢ヶ崎 康賞・活動賞・精勤賞)、大谷有希(矢ヶ崎 康賞)、清水まや(矢ヶ崎 康特別賞・皆勤賞)、椎名哲郎(矢ヶ崎 康賞) 敬称略

## 学業成績・学術文化活動等を称えて 歯学部卒業生19名が栄誉の受賞

2019年度松本歯科大学卒業証書並びに学位記授与式において、歯学部卒業生の学業成績優秀者に矢ヶ崎 康特別賞(1名)、矢ヶ崎 康賞(3名)、また学術文化活動等で顕著な活躍をした者に活動賞(11名)が贈られ、あわせて皆勤賞(4名)と精勤賞(7名)がそれぞれに贈られた。



前列左から 築岡由希絵(活動賞・皆勤賞)、黄 鈴雅(活動賞)、小林 彩(活動賞)、佐野舞香(活動賞)  
山田蘭子(活動賞・精勤賞)、西尾えりか(精勤賞)、吳 佳瑩(精勤賞)  
後列左から 仲座海希(活動賞)、久世朋弘(活動賞)、宮脇理功(精勤賞)、大石章寛(皆勤賞)  
山口久穂(活動賞・精勤賞)、佐々木裕也(活動賞)、小池隆文(活動賞・皆勤賞)、王 宜文(精勤賞) 敬称略

## 第6回FD研修会 日本歯科医療のこれから 社会的価値を高めるための成長戦略

12月10日(火)、WHITIE CROSS株式会社代表取締役CEOの赤司征夫先生をお迎えし、FD研修会が開催された。

赤司先生は東北大学歯学部を卒業後、歯科臨床に携わった後に、UCLA Anderson School of Managementにて米国の歯科医療制度や関連産業構造などについて学んだ後、WHITIE CROSS株式会社を設立。歯科医療従事者向けの情報サイトを立ち上げ発展させてきた。日本の歯科医療の現状を詳しく解析し、社会的価値を高めるための成長戦略についての提言を行ってきた。

FDでは歯科医療が日本の未来を照らす光となり得ることや、歯科医療従事者は明るい気持ちで自信を持って邁進していくことが重要であると強調された。

口腔衛生から全身の健康を高めることが叫ばれている。地域包括ケアシステムの推進と地域の医科歯科連携の構築について、政府と民間の両輪により推進していかなければならない。政府の「2019年骨太の方針」でも口腔の健康は全身の健康に繋がりが、口腔機能管理こそフレイル対策に直結すると記されている。歯科医療は生きる力を支える医療の代表という誇りを持つて、歯科医療を発展させていかなければならない。また歯科衛生士の協力のもと、歯科検診受診率の向上を図ることが高齢者医療費の抑制に繋がると、エビデンスを持って広く社会にアピールしていくことが重要である。摂食嚥下リハビリテーションの充実、医科における予防医療への最良の架け橋となる。



講演する赤司先生

10年後には「煙草は体に悪い」と同じレベルで「口を大切にしないと体に悪い」と社会で認識されるようになると赤司先生は予想している。そして日本の歯科医療の未来は、歯科医療従事者自身が既存領域の自然縮小を待つか、社会が求める領域を拡大するかを決めることに由ると結論された。われわれに勇気を与えたすばらしい講演であった。

(歯学部長・学生部長 宇田川信之)

## 人事異動

北澤 怜奈 抜擢 産科医療センター 愛媛県

2月1日付

受験生の皆さんへ

見せてほしい 君の個性 君の情熱

一般入試(Ⅲ期)  
\*センター利用入試(Ⅲ期)

特待生1種選考試験(Ⅲ期)

●試験日  
3月17日(火)  
\*センター利用入試の、本学個別試験はありません。

●出願期間  
3月2日(月)～3月13日(金)

●試験場  
本学・東京・大阪

■お問い合わせ■

HOT LINE 0263-54-3210  
松本歯科大学 入試広報室

www.mdu.ac.jp

## 最後のセンター試験終了 来年から大学入学共通テストへ

大学入試センター試験が1月18日(土)・19日(日)の2日間、全国689会場(志願者数5万7699人(前年度より1万9131人減)で一斉に行われた。1990年より毎年続いてきた試験は今回で最後となる。次回からは大学入学共通テストに名称変更されるが、英語の民間検定試験や国語と数学の記述式問題は採点等公平性の確保が不十分とされ、導入が見送られるこ



受付する受験生

となった。

本学講義館の「松本歯科大学試験場」には塩尻、木曾地区の学生約270人が緊張した面持ちで受験に訪れた。両日とも天候に恵まれ、定刻通りに試験を開始することができ、すべての受験教科・科目の試験時間でトラブルなどがなく無事終了した。

本学では、入学試験受験者の特待生選考においてセンター試験の成績を利用し、より客観的に学力評価を行っている。2月3日(月)・4日(火)・29日(土)には一般入試、特待生1種選考試験等が実施され、これから3月中旬まで本格的な入試シーズンを迎える。

Economic News 内外の経済 2月27日付

株価	日本	22,139.85円
	米国	26,957.59ドル
◆金地金店頭価格(消費税込み)	売り(1グラム)	6,451円
	買い(1グラム)	6,364円
◆白金地金店頭価格(消費税込み)	売り(1グラム)	3,669円
	買い(1グラム)	3,538円

東京外国為替相場と各定期預金金利(3ヶ月物)	
米ドル	111.34円 0.20%
英ポンド	143.43円 0.10%
ユーロ	121.10円 0.01%
スイスフラン	114.00円 0.01%
タイバツ	3.54円 0.10%
日本円	— 0.01%

(SMBC 信託銀行HP等より)

- 26日(木) 第29回歯科衛生士国家試験 合格発表
- 25日(水) 大学院発表会
- 19日(木) 一般入試(Ⅲ期)
- 17日(火) 一般入試(Ⅱ期)
- 16日(月) 第113回歯科医師国家試験 合格発表
- 12日(木) 後期定期試験(衛生学院2年学生)
- 10日(火)・11日(水) 大学院入学者選抜試験(Ⅱ期) 合格発表
- 4日(水) 衛生学院一般入試(Ⅱ期)
- 3日(火) AO入試(Ⅱ期)
- 1日(日) 第29回歯科衛生士国家試験(名簿)

## 3月行事予定